

みずほバンクレポートサービス

ISO20022対応に伴う主な変更点のご案内

2025年7月

株式会社 みずほ銀行

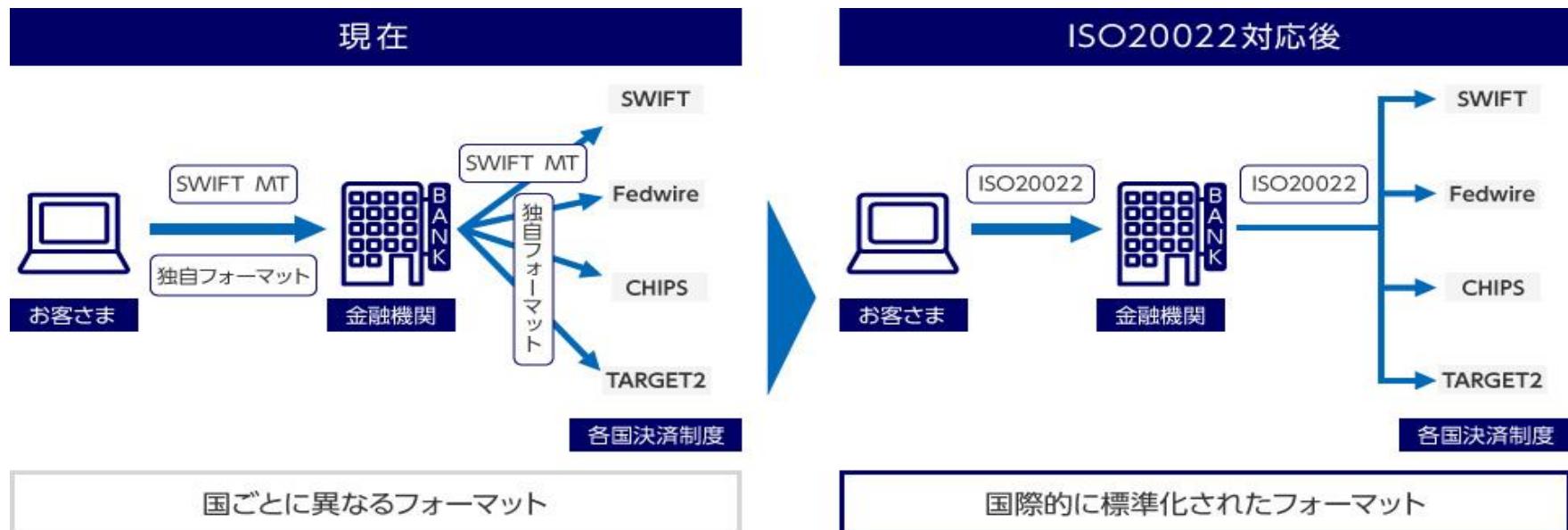


目次

1. みずほバンクレポートサービスをご契約のお客さまへ	
1-1. ISO20022とは 3
1-2. ISO20022対応によるバンクレポートサービスの主な変更点 4
1-3. バンクレポートサービスにおけるご留意事項 まで 6
2. バンクレポートのご指定配信先が SCORE 登録されているお客さまへ	
2-1. 本章の対象となるお客さまとみずほ銀行の対応 7
2-2. ISO20022移行に伴う、お客さまのご対応事項 8

1-1. ISO20022とは

- ISO20022とは国際標準化機構^{*1}が定める「金融通信メッセージの世界共通の規格」です。XML^{*2}形式のフォーマットであり、本フォーマットを外国送金電文で利用することで、現行より多くの情報を授受可能となります。
(*1) International Organization for Standardization
(*2) Extensible Markup Language
- ISO20022利用により、従来別々であったクロスボーダー送金や各国地場決済制度の電文フォーマットが統一・標準化されることで、送金取引がよりスピーディに行われることが期待されています。
- AML（アンチマネーロンダリング）精度の向上、STP（Straight Through Processing・処理自動化）による事務処理の一層の効率化、データビジネスへの活用等を目的に、SWIFT（国際銀行間通信協会）をはじめ各国の地場決済制度で、ISO20022を採用する動きが加速しております。SWIFTは、2023年3月から2025年11月にかけて外国送金に使用する電文につき、現行のMTフォーマットからISO20022へ順次移行する旨、公表しております。



1-2. ISO20022対応によるバンクレポートサービスの主な変更点

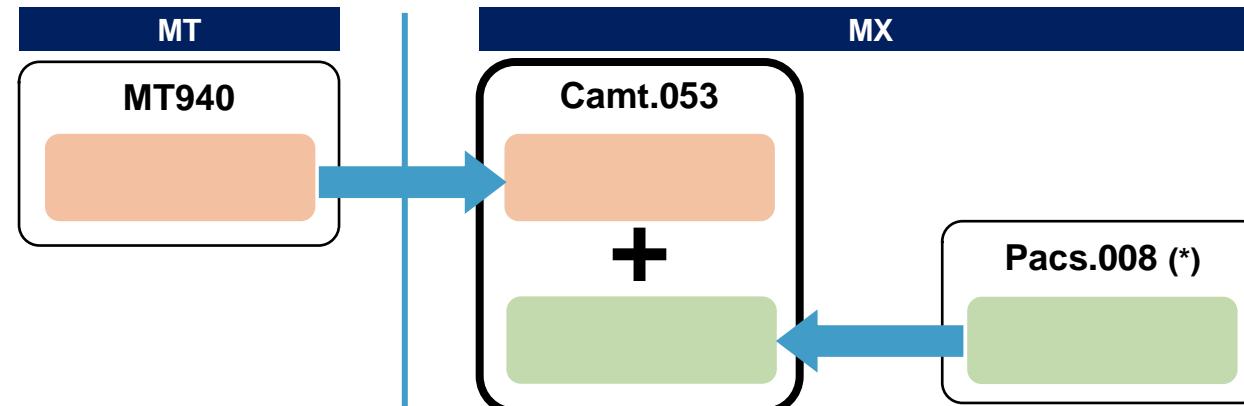
- ISO20022対応において変更となるみずほバンクレポートサービス（以下、バンクレポートサービス）に関連する電文はMT940 / MT941 / MT942となっており、それぞれCamt.052 / Camt.053に変更となります。
- ISO20022フォーマットでは、従来のフォーマットに比べて文字数の上限が大幅に拡張されており、より多くの情報をメッセージの中に含めることができます。

メッセージタイプ対応関係

メッセージタイプ [°]	配信内容	移行後メッセージタイプ [°]
MT940	前営業日の移動明細、前営業日未残高	Camt.053
MT941	当日、日中の残高	Camt.052
MT942	当日、日中の移動明細	

情報量の比較イメージ

- Camt.053は従来のMT940相当の情報に加え、資金移動の元となったPacs.008の情報も含まれます

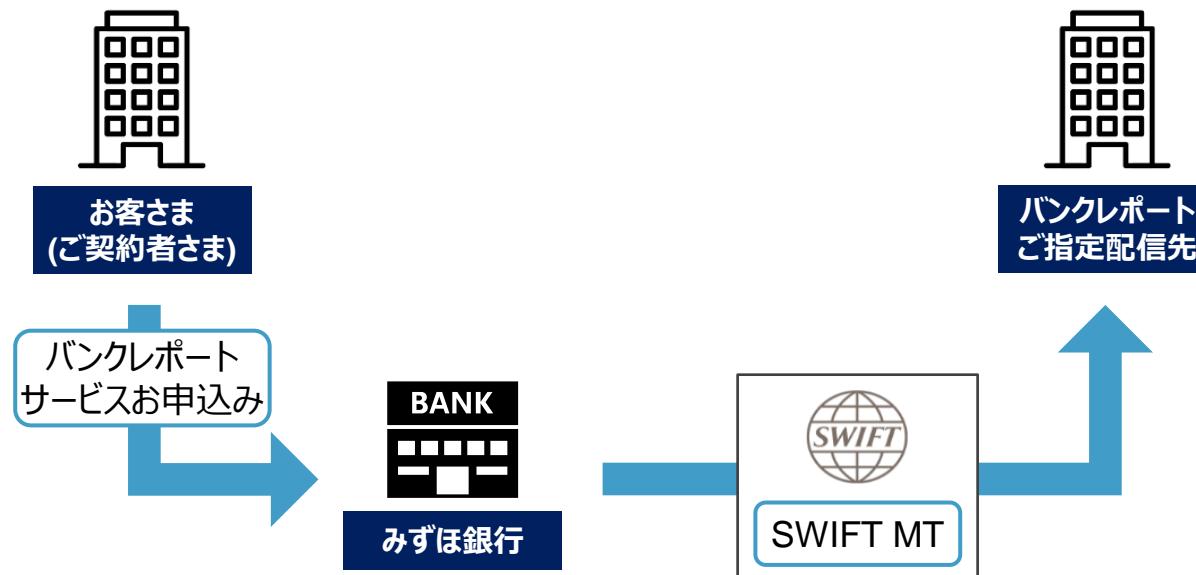


(*): ISO20022対応における
MT103(顧客送金)相当メッセージ

(ご参考) みずほバンクレポートサービスとは

- お客様がみずほ銀行に保有する預金口座の「前営業日移動明細」「前営業日未残高」および「日中移動明細」「日中残高」を、ご指定の金融機関または事業法人へSWIFTネットワークを介して配信するサービスです。

サービス概要



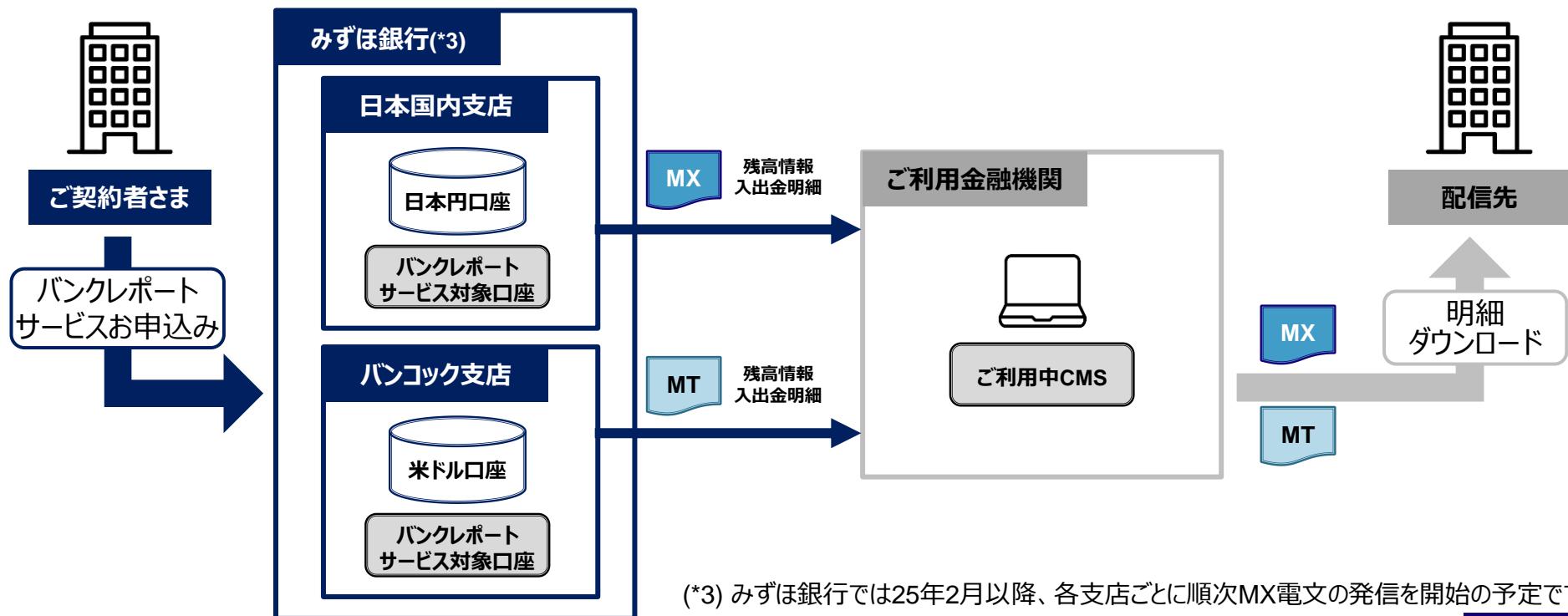
メッセージタイプ	配信内容
MT940	前営業日の移動明細、前営業日未残高
MT941	当日、日中の残高
MT942	当日、日中の移動明細

* MT941、MT942の配信につきましては各営業部店にご確認ください

1-3. バンクレポートサービスにおけるご留意事項

- バンクレポートのご指定配信先が金融機関^{(*)1)(*)2}のお客さまが本ご留意事項の対象となります。
(*)1 ご指定配信先がSCORE登録されていないお客さま
(*)2 SCOREとはSWIFT DirectoryにおいてBIC Typeが"SCORE"となっており、直接SWIFTのネットワークに参加している事業法人を指します
- 2025年2月以降、バンクレポートの発信拠点と受信先（ご利用金融機関）のISO20022の対応状況に応じて、MT電文とMX電文が混在します。
- 金融機関間のメッセージの切替えタイミングについては、個別要望をお受けすることができないため、キャッシュマネジメントサービス（以下、CMS）にて明細をダウンロードして利用しているお客さまにつきましては、ご利用金融機関に対応状況をご確認下さい。

MT / MX電文併存期間中の配信例



2-1. 本章の対象となるお客さまとみずほ銀行の対応

■ 本ご案内は、以下の条件に該当するお客さまが対象となります

→ バンクレポートサービスをご利用中かつ、**ご指定の配信先がSCORE^{(*1)(*2)}登録されているお客さま**

(*1) SWIFT社にSCOREとして登録されている配信先

(*2) SCOREとは” Standardized Corporate Environment”の略称で、一般企業が直接SWIFTのネットワークに参加し、SWIFT加盟のすべての銀行とSWIFTを通じてメッセージ交換が可能となるもの

■ 上記に該当するお客さまのバンクレポートは、原則、MT電文での配信が継続されます

MX電文での配信をご希望のお客さまにつきましては、お取引部店にご相談ください

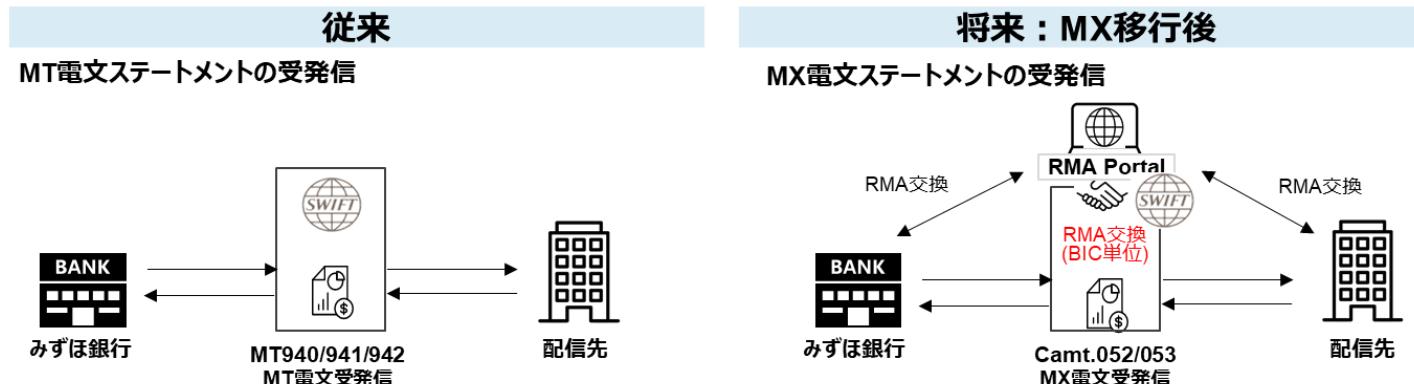
2-2. ISO20022移行に伴う、お客さまのご対応事項

- MX電文での配信をご希望の場合、お客さまのご対応事項がございます。

#	主な変更内容	お客さまの対応事項	当行からのサポート/留意事項
1	RMA交換の必須化	<ul style="list-style-type: none"> バンクレポート配信先とみずほ銀行の間でRMA交換が必要となります RMA交換にあたり、みずほ銀行の規定により配信先の本人確認手続きが必要となるため、本人確認書類^{(*1)(*2)}をご手配ください <p>(*1) 必要な本人確認書類は配信先所在国により異なります (*2) 初回登録時のみでなく、定期本人確認時も必要となります</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認手続きにお時間を要するため、MX電文での配信をご希望されてから、実際に切替えが完了するまでにリードタイムが発生いたします
2	フォーマット変更	<ul style="list-style-type: none"> 会計システムに取込む場合は、新フォーマットに対応する必要がございます (詳細は配信元の拠点により異なります) 	<ul style="list-style-type: none"> MT/MX電文併存期間は、いずれかの形式で発信する場合がございます 形式の詳細につきましては別途「Message Implementation Guideline」(MIG) をご参照ください

(ご参考) RMA交換の変更点

- RMAとは、「Relationship Management Application」の略称です。SWIFTメッセージを認証するための仕組みです。
- 従来のMT900番台の受発信においてはRMA登録は不要でしたが、Camt.052 / 053を受発信する場合、SWIFT社が提供する「RMA Portal」にてBIC単位でのRMA登録が必要となります。



補足資料

©2025株式会社みずほ銀行

本資料は、貴社と株式会社みずほ銀行との協議のために作成したものです。ここに含まれるすべての条件は一定の前提に基づくものであり、ここに含まれる情報、分析結果が完全かつ正確であることを保証するものではありません。また、本商品の提供は、融資の実行を前提とするものではありません。

本資料に記載されている制度・プログラムは、今後開示される情報、審査・評価、格付機関の見解、金融システムや経営環境の変化等、様々な要因により変更される可能性があります。このような変化が生じた場合、本資料に含まれる分析で期待される効果が実現されない可能性があります。また、本資料は貴社固有のリスクを考慮したものではありません。

本資料に記載されているプログラム/システムに関連するリスクを十分に分析し、評価することが推奨されます。契約を締結するかしないかの決定は、お客様ご自身の判断によって行ってください。法的事項、会計上の問題、および税務上の懸念については、弁護士、公認会計士、税理士などの専門家にご相談ください。

別途締結された契約がない場合は、株式会社みずほ銀行は、貴社に対してコンサルタントまたはアドバイザーとしての経営上の助言を行うものではありません。

株式会社みずほ銀行は、金融庁の認可・規制を受けています。